



MMWIN[®]みんなのみやぎネット[®]

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために
Vol. 39

参加施設にインタビュー
かわむらこどもクリニック
仙台市青葉区高松
理事長・院長 川村和久 先生

1. 病診連携について活用事例を教えてください

私は、25 年前に「お母さんの不安・心配解消」を理念に開業し、理念に基づく様々な活動を行っています。理念を持って診療に当たるだけでなく、お母さんに安心感を与えることを心掛けています。
今年の夏に、他院で乳児健診を受けたお子さんの状態を心配した祖父母の勧めで、飛び込みで診察に来られたお子さんがいました。すぐに先天性の病気が疑われ、直ちに大学病医院へ紹介入院となりました。入院すると時間がある限り、理念の実践のため入院中の母子を訪れます。目的は不安心配の解消と、症例の経過を学び、主治医と連携する事です。入院してすぐに訪れましたが、事前に MMWIN で情報を確認し、検査結果などを把握していましたので、その情報によって、「もう少し入院長引きそうだね。頑張ってるね！」など励ますことができました。



川村先生

2. 画像連携が今年度中に実装される予定です。 小児科で情報連携に期待することを教えてください

小児科ではあまり画像を重視して連携するケースは少ないですが、先述したように、お母さんの心配・解消という点で、検査数値や画像を示すことで「除外診断」に活かす事ができます。言葉では伝えられない事の「見える化」と言えるかもしれません。

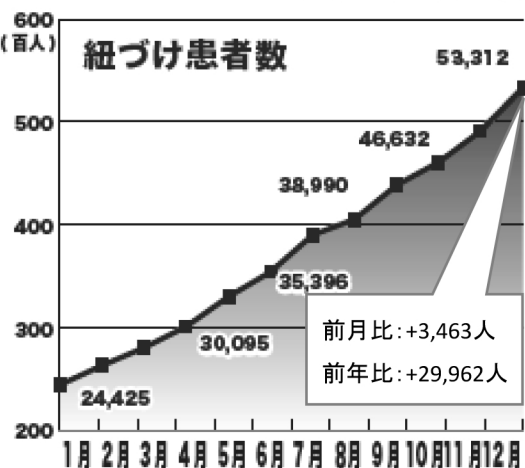
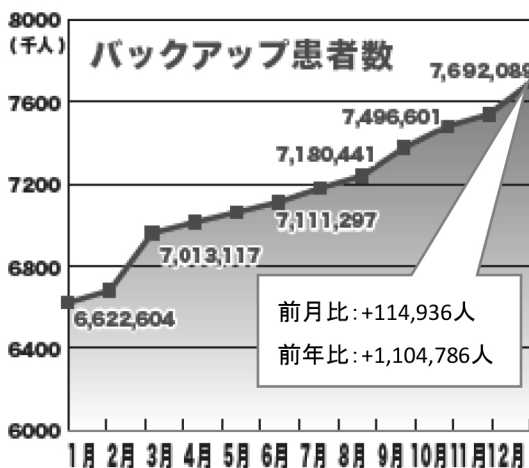
今後、大規模病院での画像診断だけでなく、星稜クリニックとの「診診連携」にも取り組んでいきたいと考えています。

また、情報システムを活かしてリアルタイムに情報を整理・提供するという意味では、小児科にとって役立つのは、感染症の症例数やワクチン接種率というような情報を MMWIN を介することでリアルタイムに情報処理する事です。従来の手間を省きかつ正確な情報が得られると思います。

これらの情報は医療従事者だけでなく一般の方々にも情報提供できるのではないかと考えています。インフルエンザ発症源や蔓延地域などを情報提供できれば、一般の方々にも役立つしそのような情報も提供できれば予防接種率の向上に繋がると思います。

【データ推移】

※平成29年12月31日現在



【参加施設数】

※平成29年12月31日現在

病院	診療所	薬局	介護施設/他	合計
80	225	342	178	825

お問合せ先

(一社)みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

【住所】仙台市青葉区大手町1-5 宮城県医師会館 6階 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【事務局TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp

前年比: +267 施設